

新型コロナウイルス感染予防
理学療法管理チェックリスト
—患者様とスタッフを守るために—

2020年5月24日

日本理学療法士協会理学療法管理部門

アンケートの目的と概要

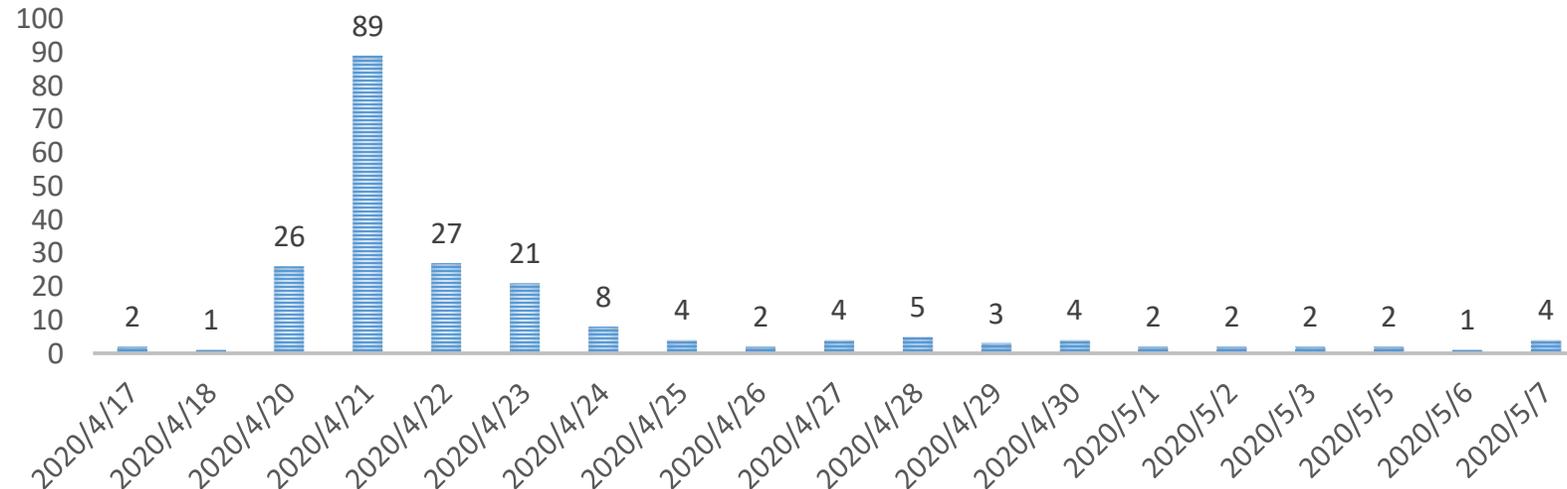
- 日本理学療法士協会理学療法管理部門では、会員より「実際に
行っている感染予防対策を知りたい」との声に対し、対策を行っている
会員の方々からの情報をもとにチェックリスト「staffや患者様を守る
ための項目」をまとめました。
- このアンケートは、アンケートを行うことで自施設で不備な点など確
認すると共に、ご回答いただいた結果をもとに、より適切なチェックリ
ストの作成を視野に入れて作成されたものです。
- アンケート調査は全国47都道府県中42の都道府県からの回答を得
て、有効回答数は209件ありました。
- これらの施設において各事業形態におけるCOVID-19の受け入れ状
況やリハ実施状況、COVID-19の対応や実習受け入れ状況等を報
告します。

アンケート結果

アンケート状況

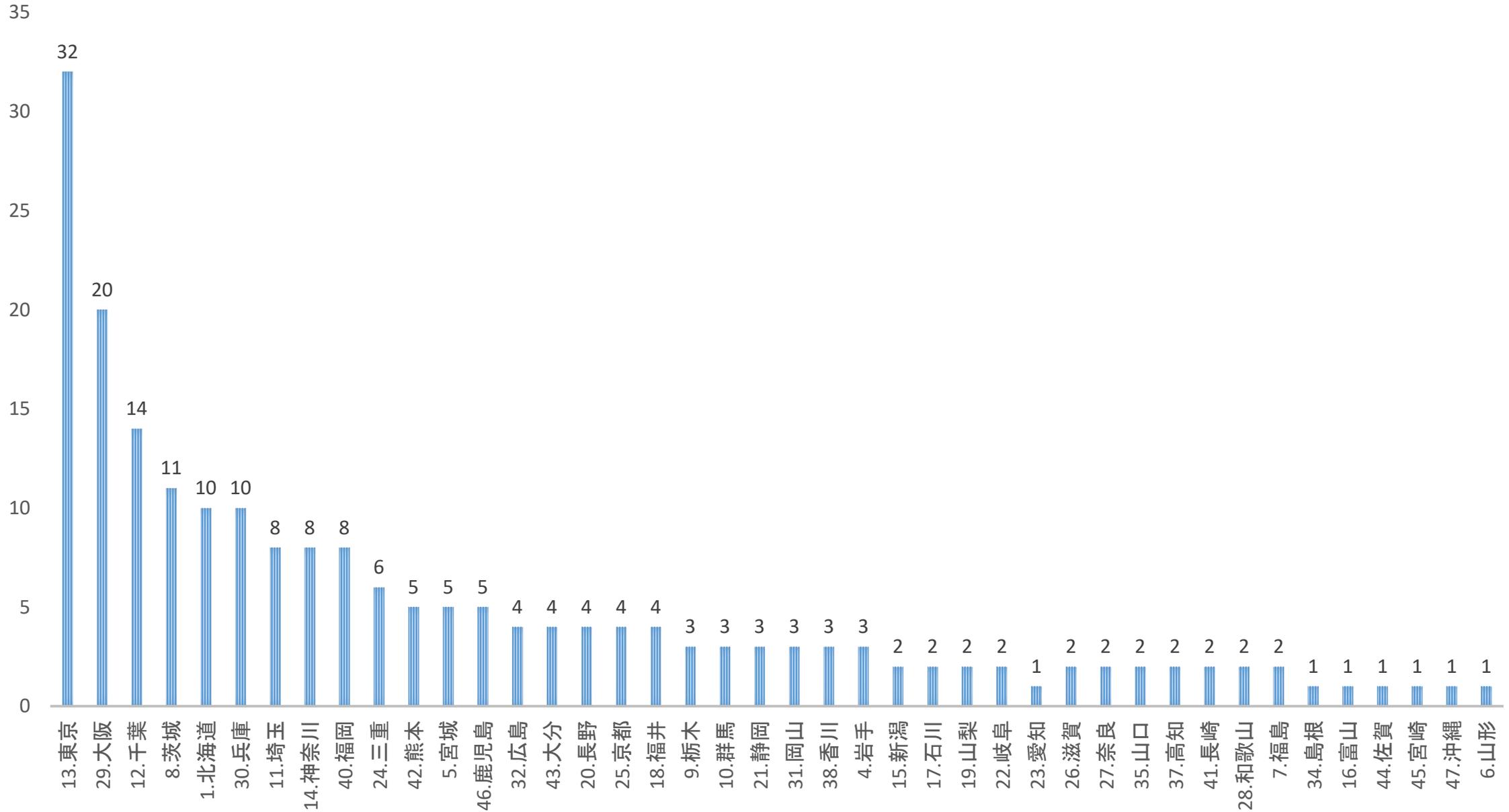
- 実施期間: 2020年4月17日～5月6日
- 実施方法: 理学療法管理部門メルマガ登録者を中心としたWEB調査
- 有効回答数 209件

回答日



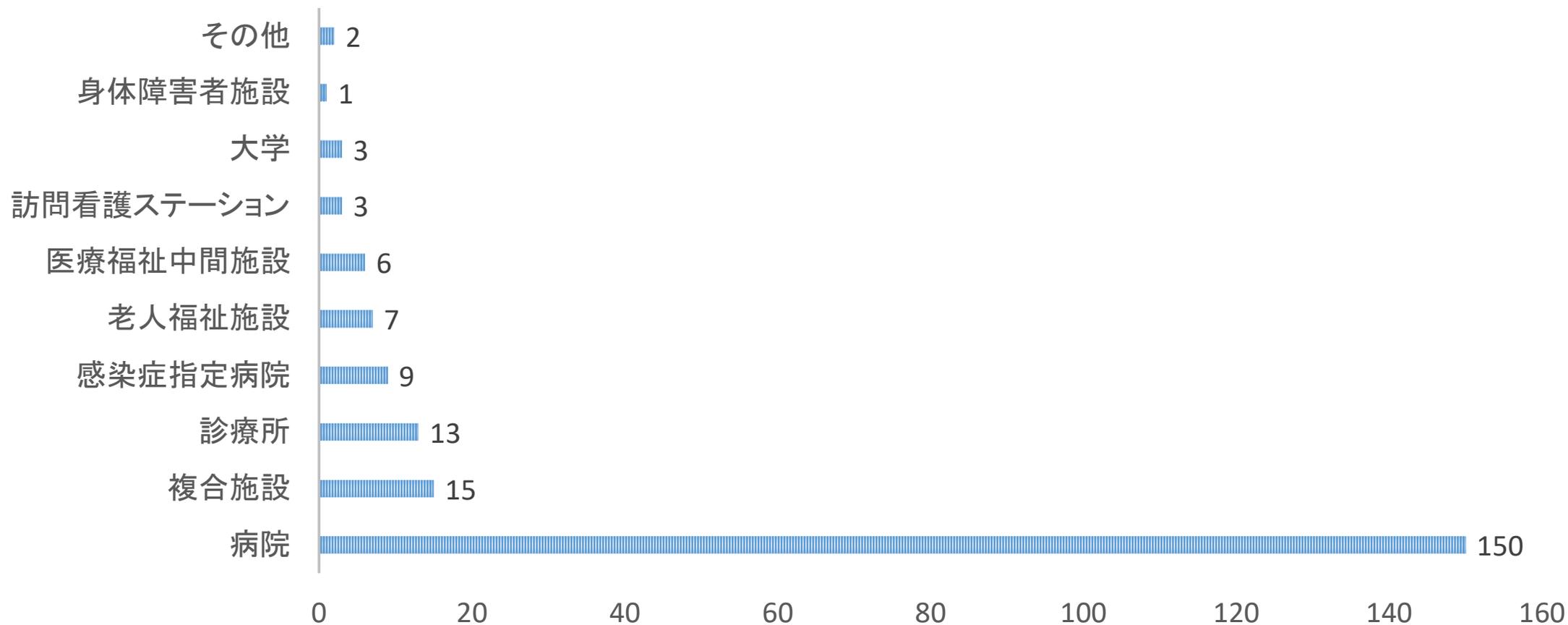
約80%が4月23日までに回答

1.勤務先のある都道府県



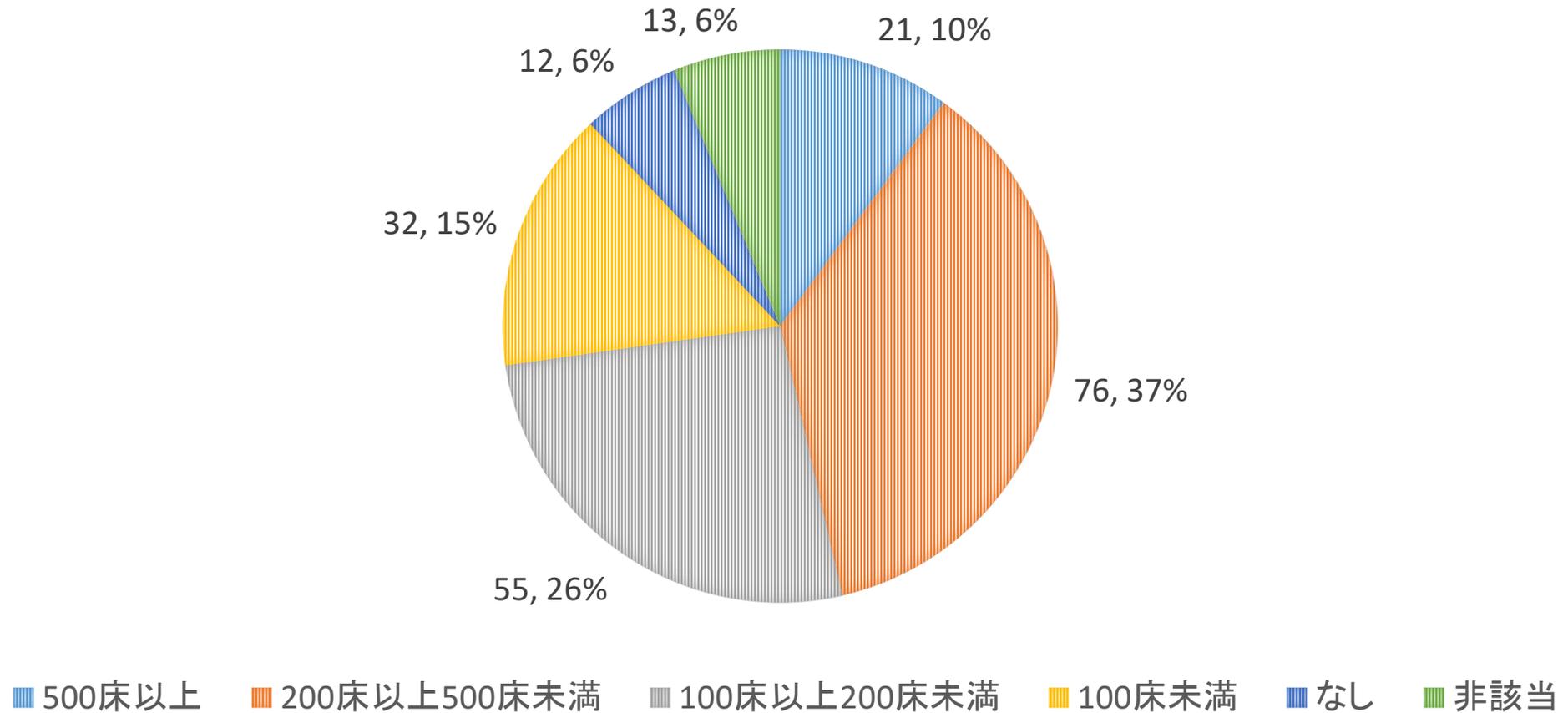
2. 施設形態

2.施設形態についてお尋ねします(209件の回答)



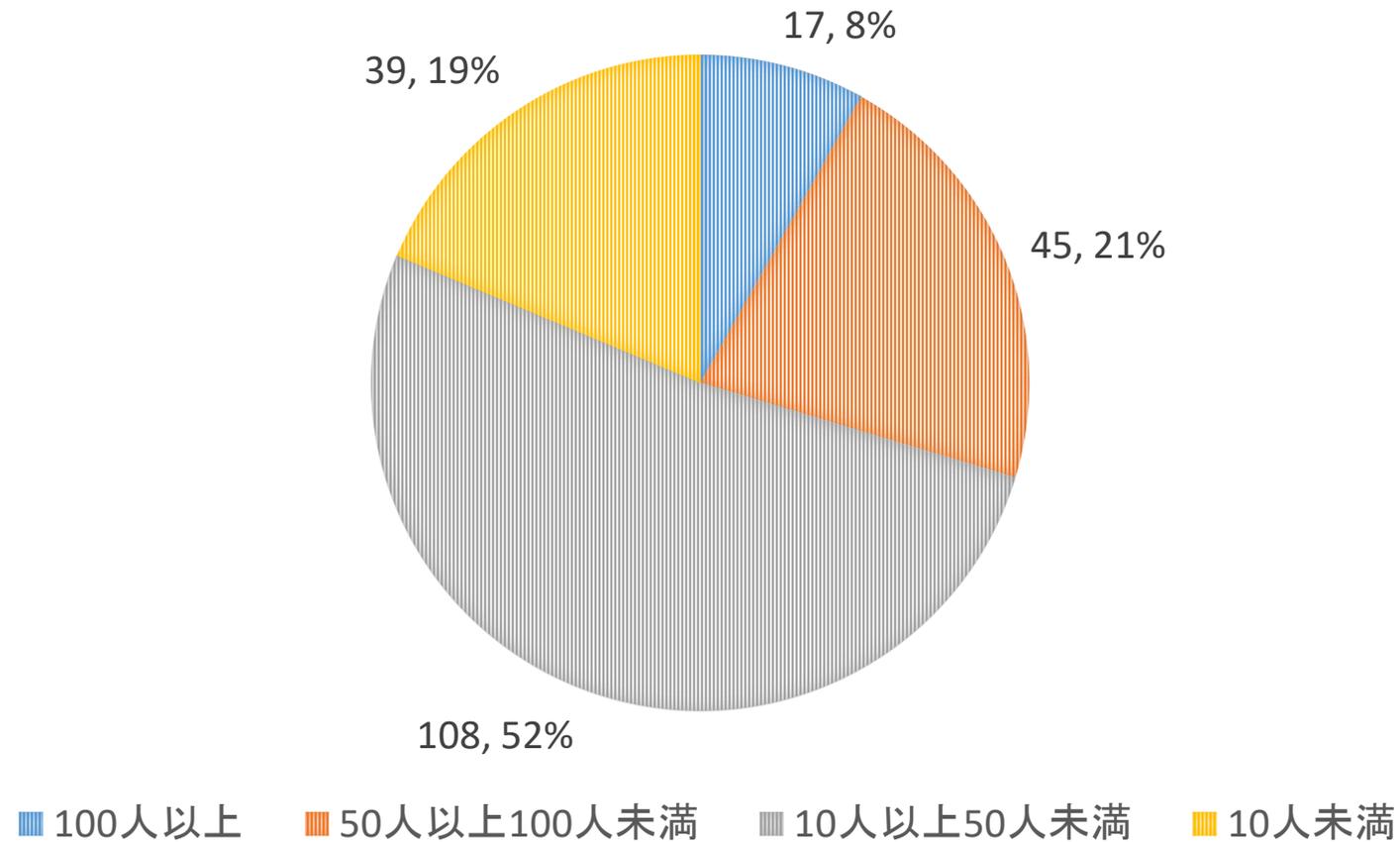
3. 病床数

3. 病床がある施設は、施設の病床数についてご記入ください。



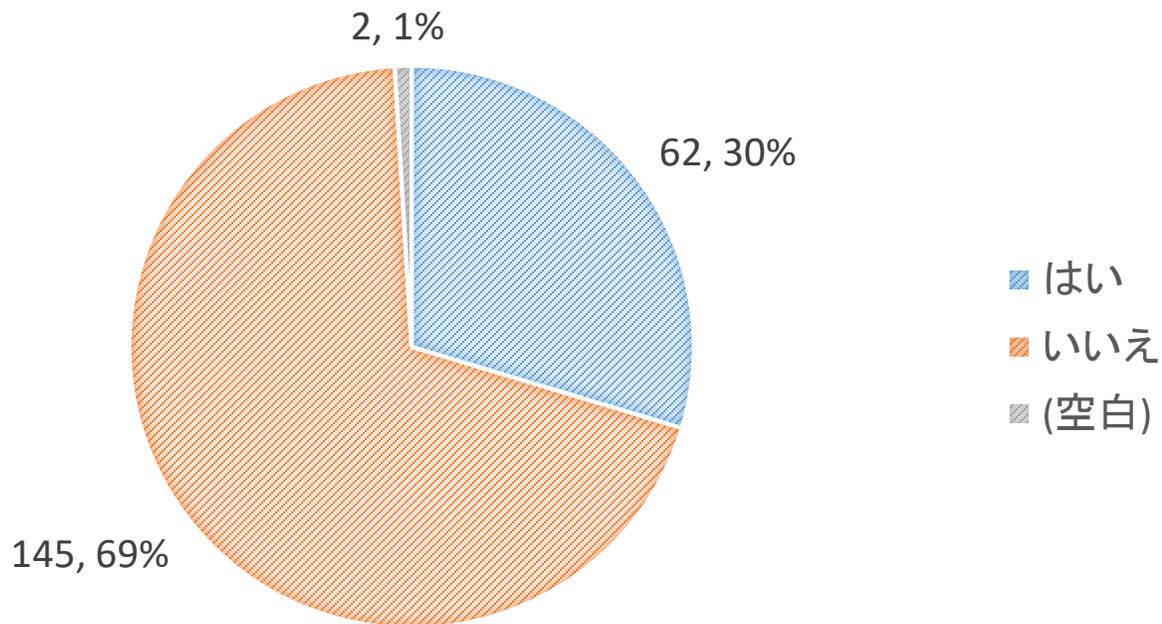
4. リハスタッフ数

4.リハスタッフの数(POSTの合計)をご記入ください。



5. 都道府県別COVID-19 陽性患者受け入れ状況

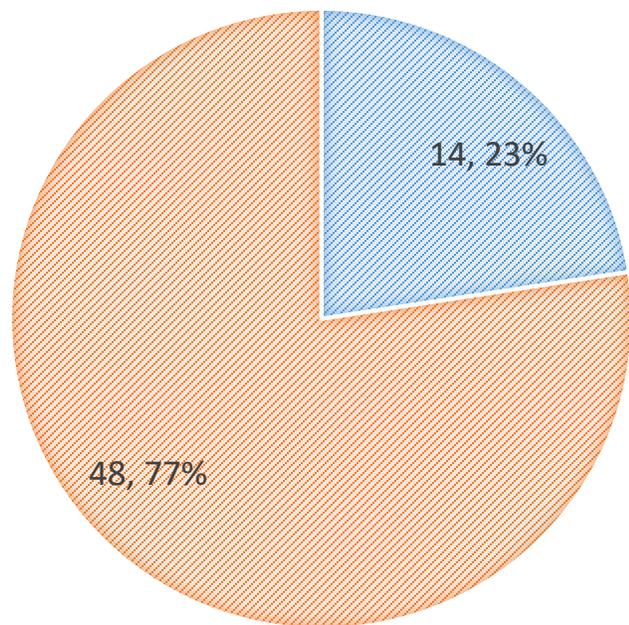
5. 現在、COVID-19を施設として受け入れていますか(209件の回答)



行ラベル	はい	いいえ	(空白)	総計
13.東京	12	19	1	32
29.大阪	8	12		20
12.千葉	10	3	1	14
8.茨城	4	7		11
1.北海道	5	5		10
30.兵庫	3	7		10
11.埼玉	3	5		8
14.神奈川	3	5		8
40.福岡	2	6		8
24.三重	1	5		6
42.熊本	1	4		5
46.鹿児島		5		5
5.宮城		5		5
18.福井	3	1		4
20.長野		4		4
25.京都	1	3		4
32.広島		4		4
43.大分	1	3		4
10.群馬	1	2		3
21.静岡		3		3
31.岡山		3		3
38.香川		3		3
4.岩手		3		3
9.栃木	2	1		3
15.新潟	1	1		2
17.石川		2		2
19.山梨		2		2
22.岐阜		2		2
7.福島		2		2
26.滋賀		2		2
27.奈良		2		2
28.和歌山	1	1		2
35.山口		2		2
37.高知		2		2
41.長崎		2		2
34.島根		1		1
23.愛知		1		1
44.佐賀		1		1
45.宮崎		1		1
47.沖縄		1		1
6.山形		1		1
16.富山		1		1
(空白)				
総計	62	145	2	209

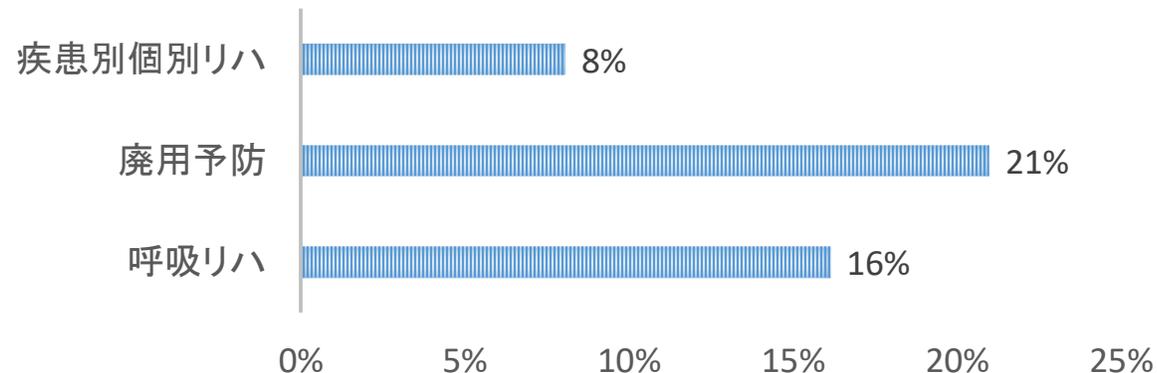
5. COVID-19患者リハ実施状況

①COVID19患者のリハビリを実施していますか
(62件の回答)



■ はい ■ いいえ

②COVID19患者のリハビリ目的(14件の回答)

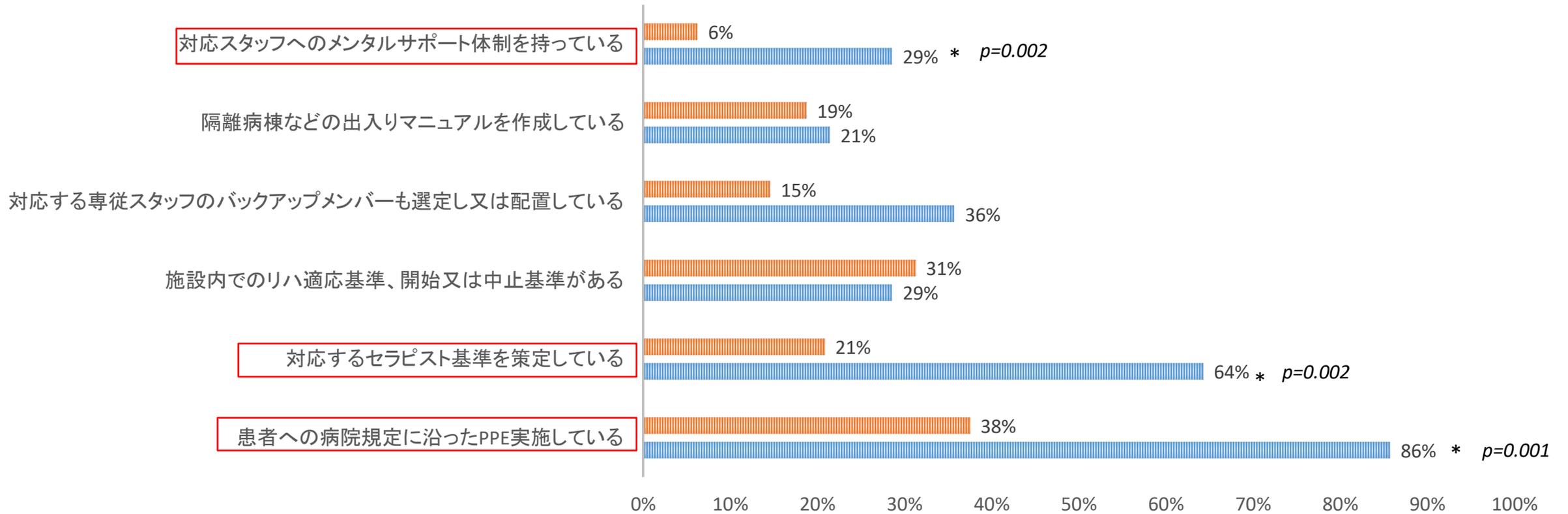


行ラベル	データの個数 / NO
はい	14
呼吸リハ, 廃用予防	5
疾患別個別リハ	2
呼吸リハ	1
呼吸リハ, 廃用や疾患別は、自主練習を指導し直接介入は必要以上にしない	1
呼吸リハ, 廃用予防, 嚥下	1
廃用予防	1
廃用予防, 疾患別個別リハ	1
廃用予防, 疾患別個別リハ, 嚥下評価と食形態調整	1
(空白)	1
総計	14

5. COVID-19リハ対応としての取り組み

③下記で対応しているものがありましたら、すべてにチェックをお願いします

■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件) ■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)

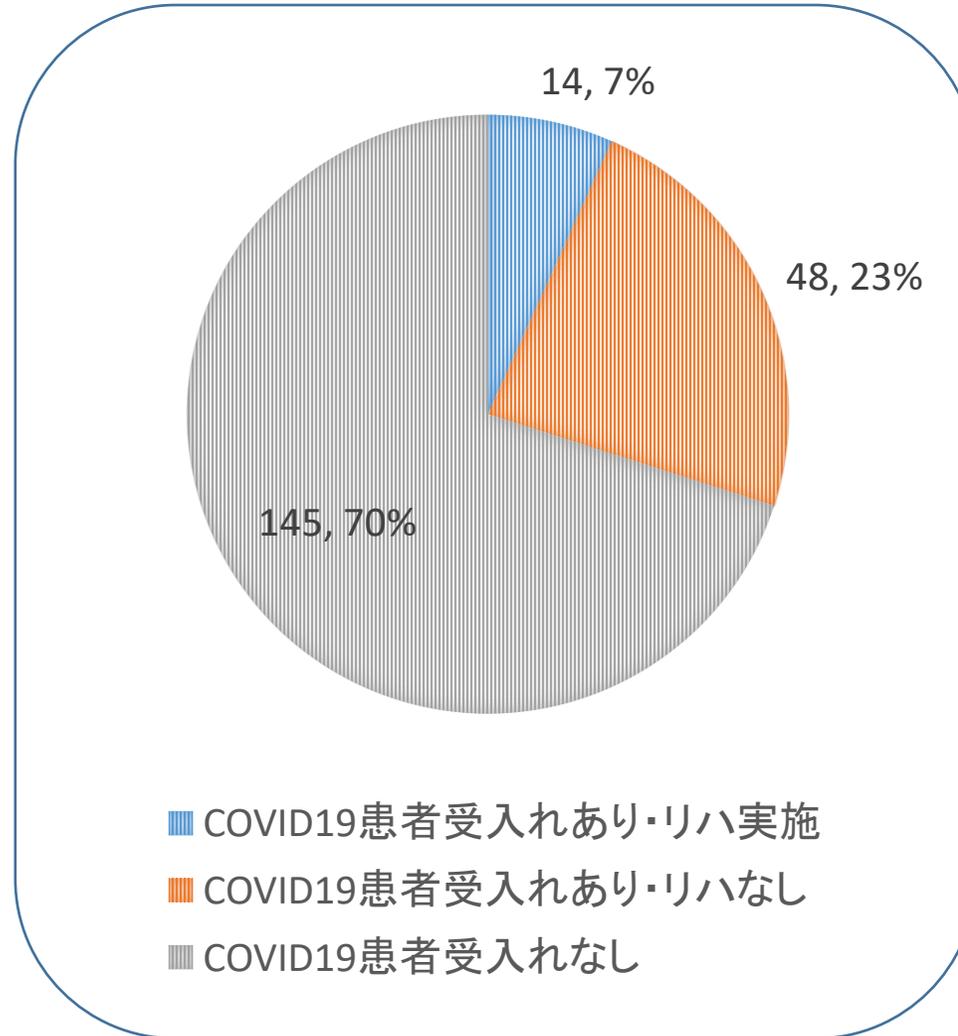
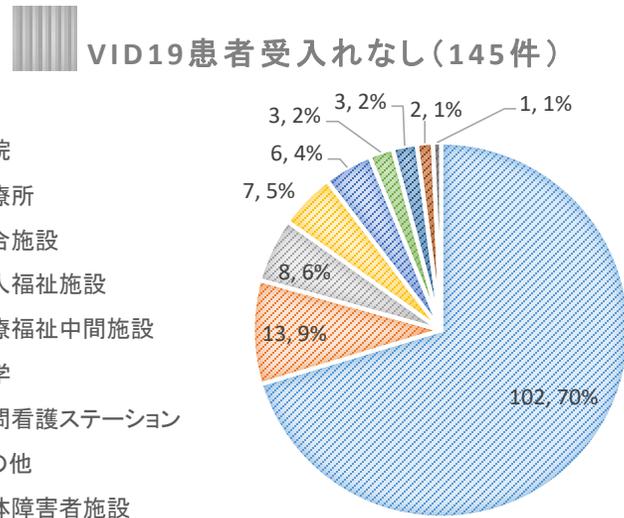


群間による有意差をみとめた項目

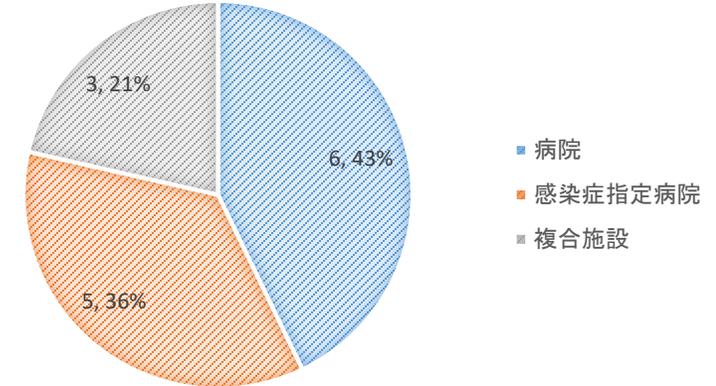
COVID-19患者受け入れ・リハ実施 状況による比較

-  COVID19患者受け入れあり・リハ実施群(14件)
-  COVID19患者受け入れあり・リハなし群(48件)
-  COVID19患者受け入れなし群(145件)

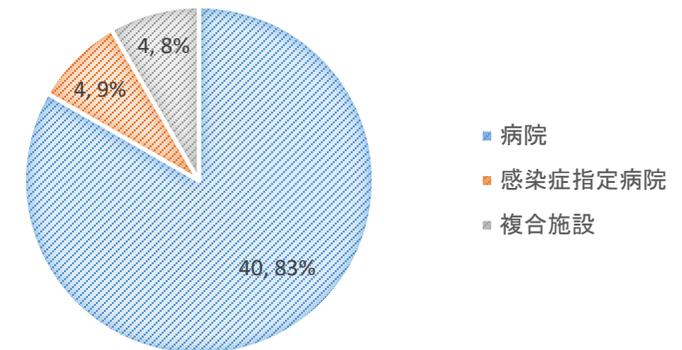
COVID-19患者受け入れ・リハ実施状況



COVID19患者受入れあり・リハ実施 (14件)



COVID19患者受け入れあり・リハなし (48件)

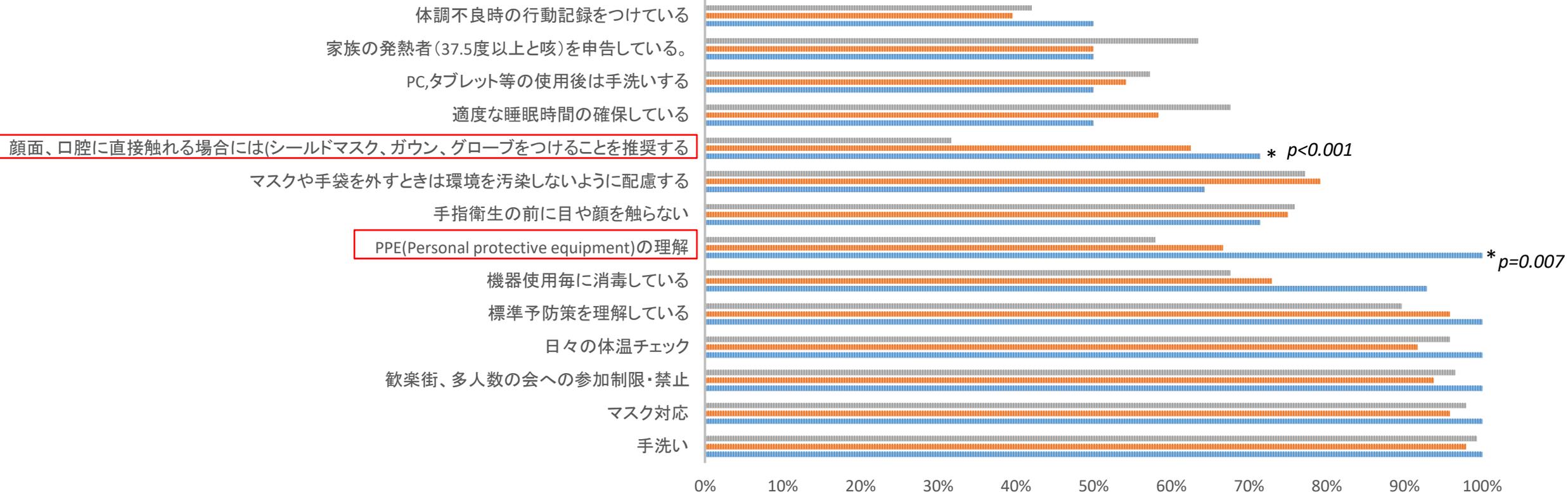


* 以下のスライドではこの3群で比較した結果を示す

6. 個人レベルでの対応

6.個人レベルでCOVID19対応として行っているものについて、下記のもので実施しているものにはすべてにチェックをお願いします。

■ COVID19患者受入れなし(145件) ■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件) ■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)



群間による有意差をみとめた項目

30%以下の実施率

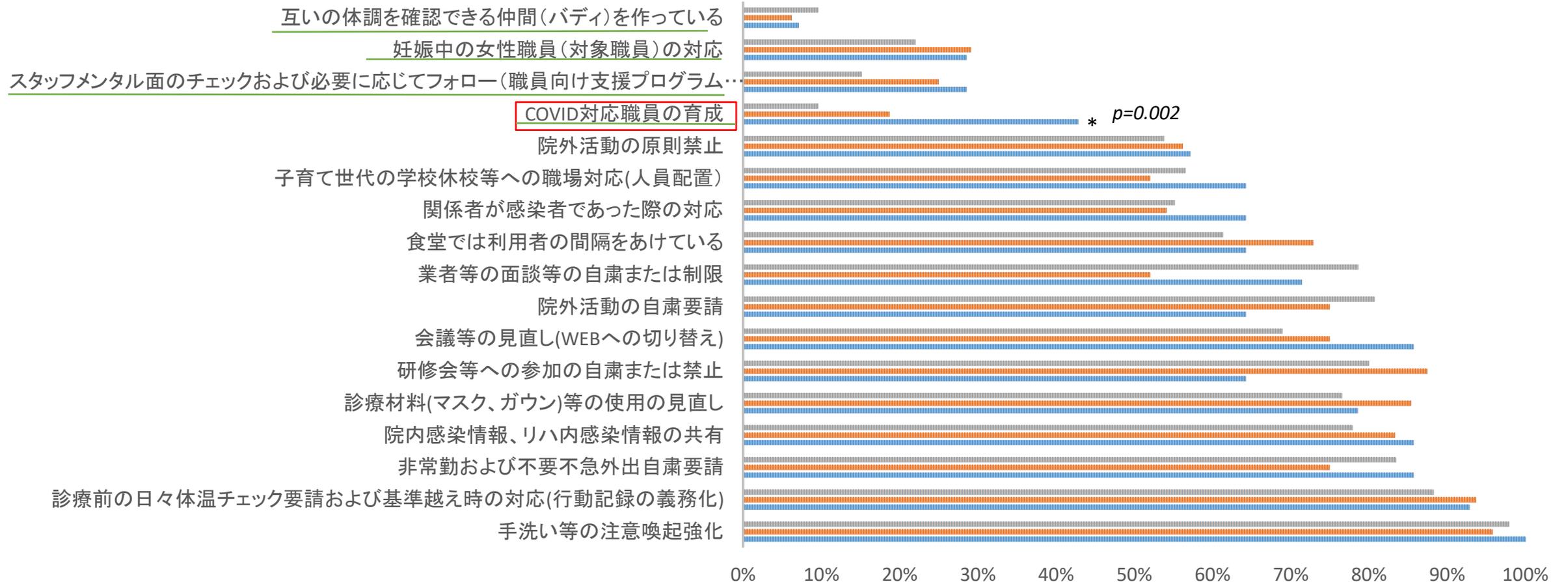
7. 組織レベルでの対応

7.組織でのCOVID19対応として行っているものについて、下記のもので実施しているものにはすべてチェックをお願いします。

■ COVID19患者受入れなし(145件)

■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件)

■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)



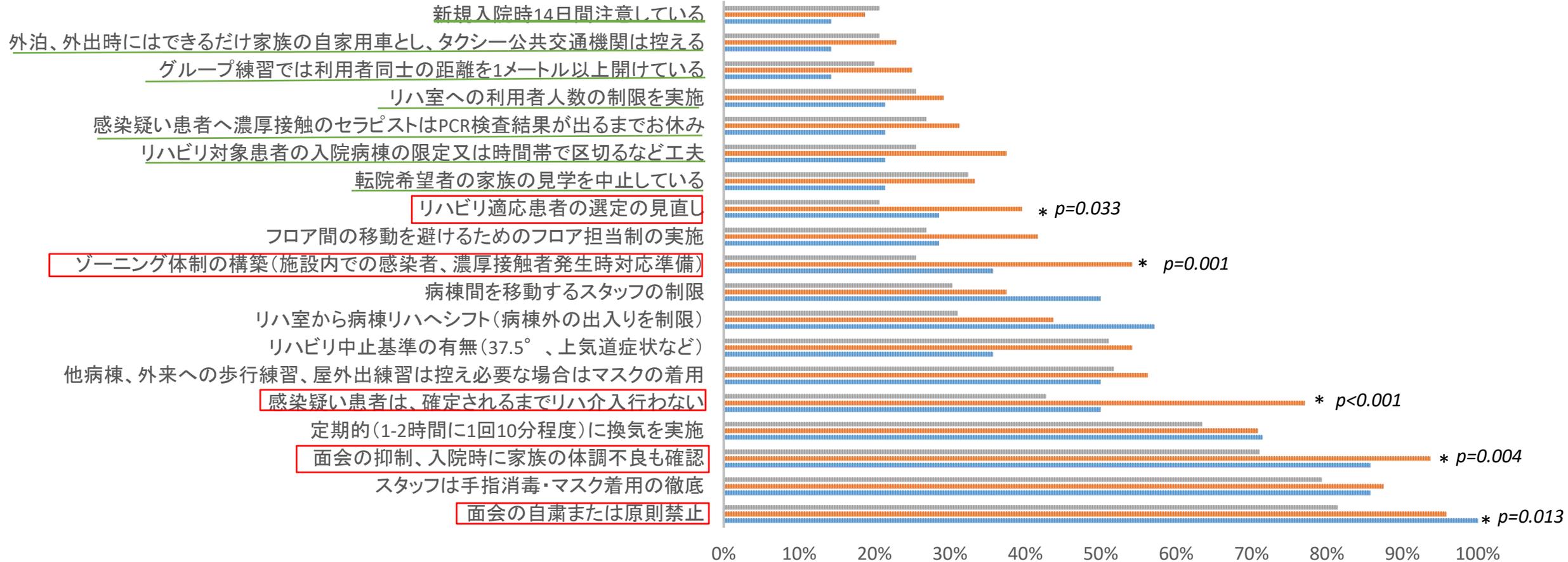
群間による有意差をみとめた項目

30%以下の実施率

8. 入院(急性期・回復期)・入所施設での対応

8. 入院(急性期・回復期)・入所の対象者に対し下記のもので実施しているものにはチェックをお願いします。

■ COVID19患者受入れなし(145件) ■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件) ■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)



群間による有意差をみとめた項目

30%以下の実施率

9. 外来やデイでの対応

9. 外来リハやデイケアの対象者に対し下記のもので実施しているものにはすべてにチェックをお願いします。

■ COVID19患者受入れなし(145件)

■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件)

■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)

担当ケアマネ、利用者と施設指針(COVID19対応)のお知らせを用いて情報共有を

退所時の体調確認を行っている

送迎車内の換気・消毒を実施している

トレッドミルなどエアゾル増加する運動プログラムの見直し

退所時の手指消毒を行っている

家族に14日以内の海外帰国者がいる場合外来リハを中止している

家族で発熱者がいる場合リハ中止

患者家族の発熱者情報を確認する

利用者の待機スペースは対面式とならないように座席を配置している

来所時は必ず手指消毒を実施していただく

外来枠の見直し(中止の判断)

外来枠を縮小している

呼吸器症状を呈する場合はマスクの着用してもらう

利用者が使用したリハ機器・共用部は使用毎に消毒している

外来患者のリハ前手洗い(アルコール消毒)の依頼

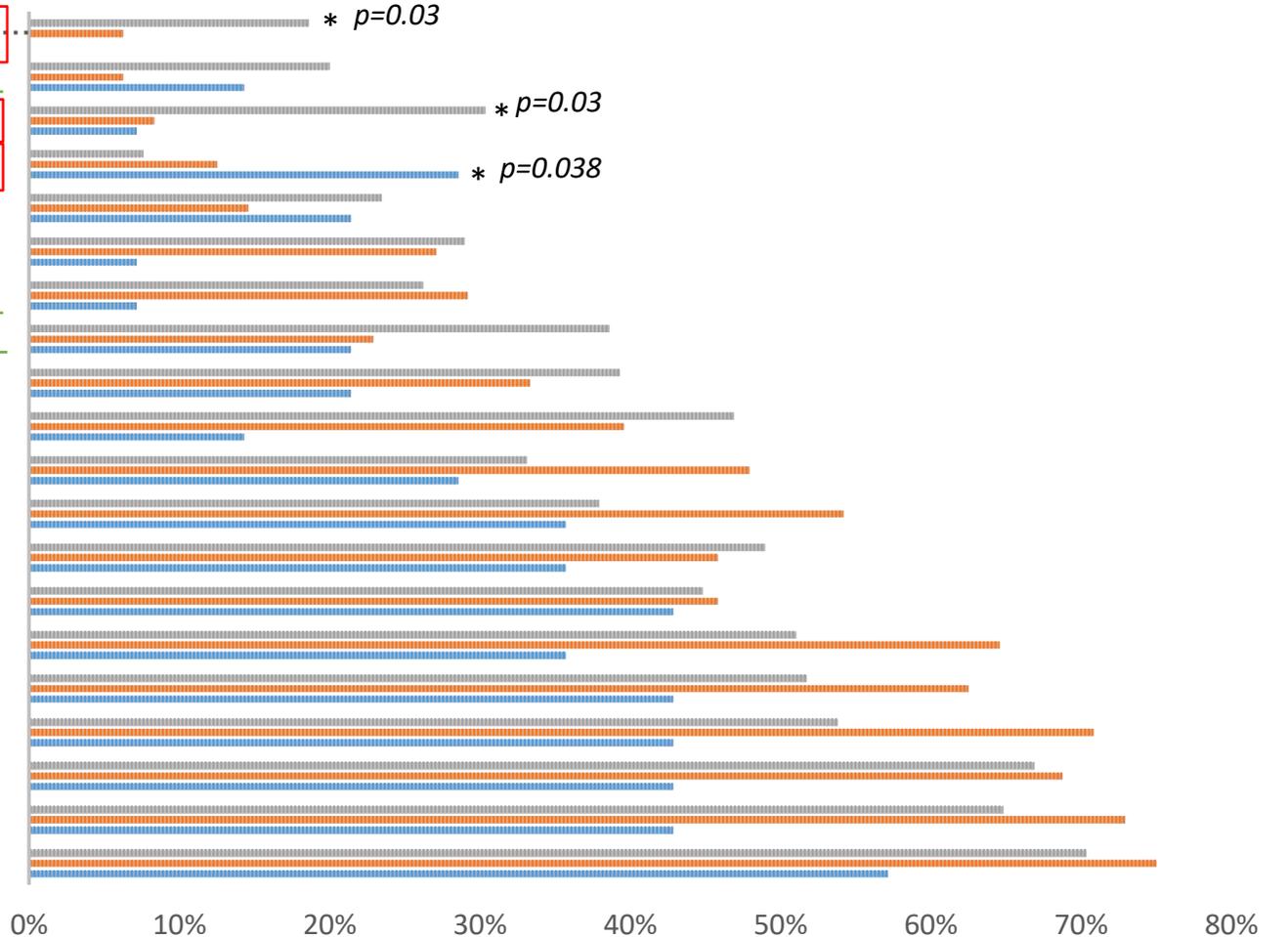
患者間の距離を一定に保てるように配慮している

外来患者リハビリ中のマスクを依頼

受付時外来患者検温の実施

リハビリ中止基準(37.5°)を設けている

訓練室を定期的に換気している



群間による有意差をみとめた項目

30%以下の実施率

10. 訪問リハでの対応

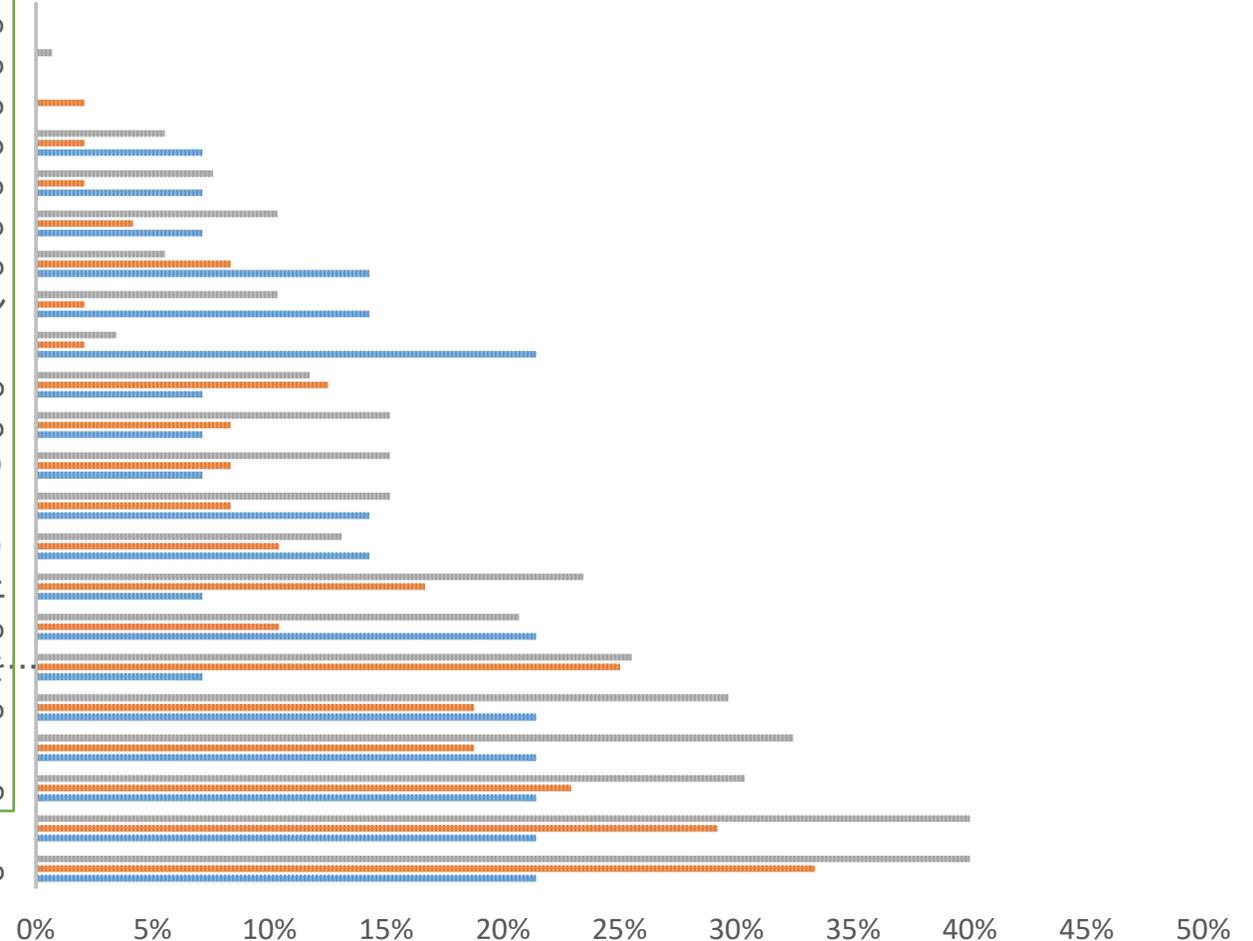
10. 訪問リハでの対応について下記のもので実施しているものにはチェックをお願いします。

■ COVID19患者受入れなし(145件)

■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件)

■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)

- 感染症が疑われる方の訪問は最後にするなどの工夫をしている
- 訪問前に電話で利用者・家族の体温を聞いている
- ゴミやディスプレイ手袋等は体質時にまとめて居室(居宅)のごみ箱に廃棄している
- 一部スタッフの直行直帰を開始。ステーション内に詰めないなどの工夫をしている
- 当該地域で感染が広まった際の訪問の優先順位を付けている
- 多職種での関わっている利用者への実働者数を制限している
- 利用者が使用している車椅子や歩行器を消毒をしている
- COVID-19感染に対する利用者へのオリエンテーション
- バック・上着等は居室に持ち込まず、ビニール等を敷きその上に置くことを原則とする。
- 訪問車接触部位をアルコール消毒している
- 予め利用者・ご家族に手洗いとマスクの着用を依頼している
- 利用者、家族に対する感染対策への注意喚起強化(冊子配布)
- 施設内の兼任業務をなくし専従化。外来や入院患者との隔離。
- 身分証明書の持参(行動制限を想定した身分明示のため)
- 利用者宅で感染者が出た場合の確認 担当訪問スタッフは出勤停止
- 訪問先での定期的に換気している
- 利用者に対する介入前の体温測定とマスク着用の依頼。発熱確認時は事前連絡を
- 感染予防マニュアルを作成しスタッフ間で共有している
- 出勤停止等の基準を設けている。
- 使用物品の患者毎のアルコール消毒を徹底している
- 出勤前の体温測定し、発熱や咳等の症状の記録している。
- 手洗いやうがいの徹底 強化している

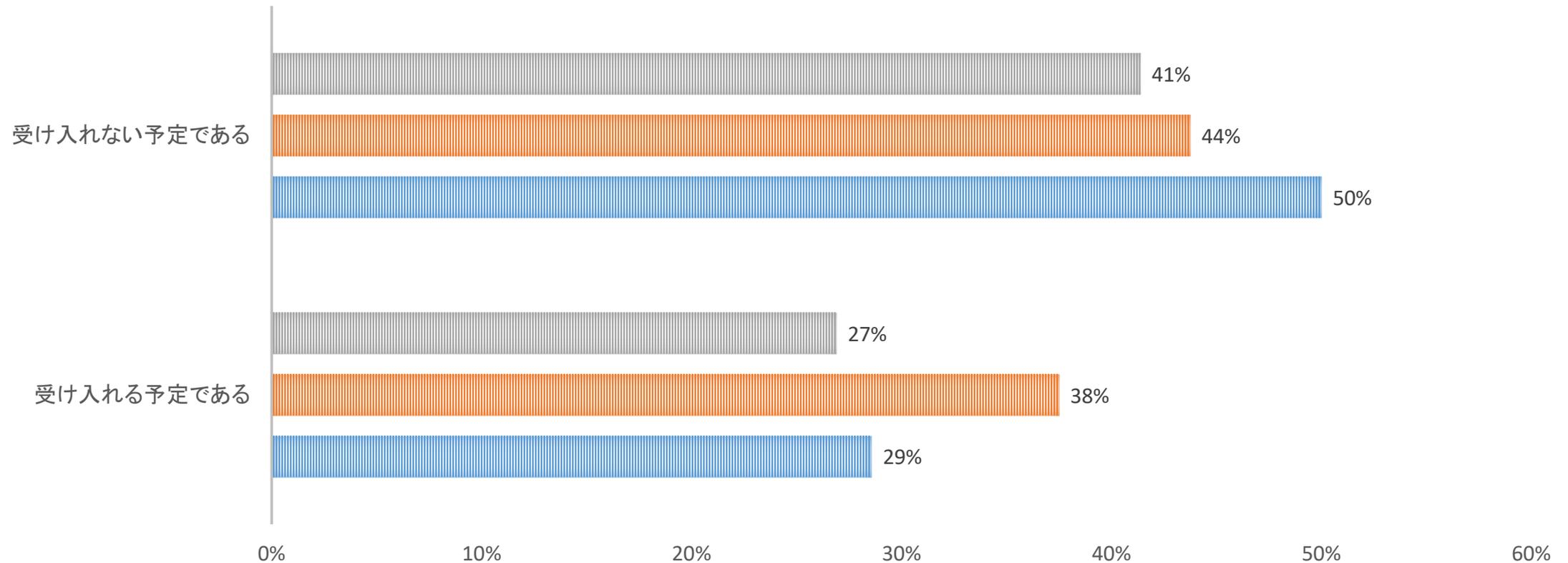


3群間に有意な差なし

30%以下の実施率

11. 臨床実習受入れについて①

■ COVID19患者受入れなし(145件) ■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件) ■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)

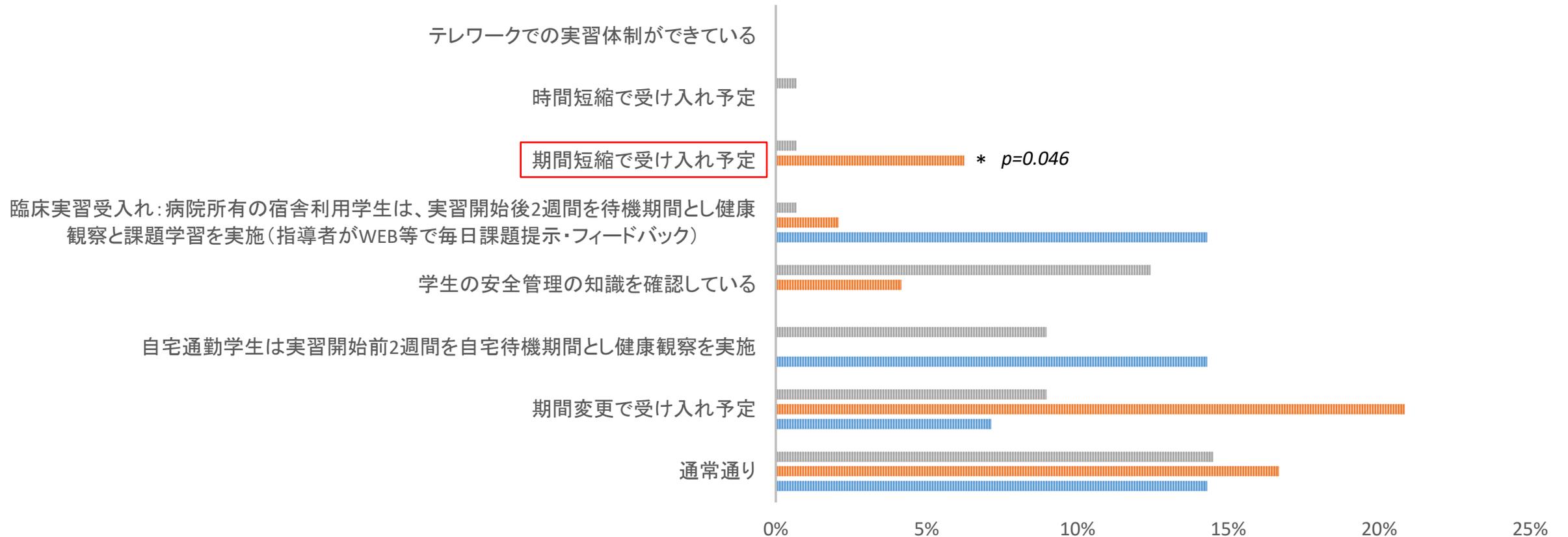


3群間に有意な差なし

11. 実習受入れに際しての形態②

11. 臨床実習を受け入れる予定とした方にお聞きします。どのような形態で受け入れる予定ですか？

■ COVID19患者受入れなし(145件) ■ COVID19患者受入れあり・リハなし(48件) ■ COVID19患者受入れあり・リハ実施(14件)



群間による有意差をみとめた項目

自由記述回答

各設問のその他回答含む

設問12 貴施設での取り組みについてご紹介でいただけるものがありましたら下記にご記入ください①

カテゴリー	自由記述内容
感染対策	<ul style="list-style-type: none">• 対応ガイドラインに沿った運用。• 院内に疑いもしくは陽性が出るラインを基準にフェーズを設定し、制限に関するレベル設定を行うことで、クラスター感染や業務停止とならないよう対応している。• 感染予防の一環として通所リハビリ利用者に対し、ご自宅では3放（寝っ放し、座り放し、立ち放しなど同一姿勢）にならないよう啓蒙活動をしている。• 発生の予防には出来る限りの取り組みをしていますが、発生は避けられないことを前提に対策を考えている。• マスクなしでの会話を禁止としている。
環境対策	<ul style="list-style-type: none">• 休憩室・スタッフルームにおける3密防止の徹底（室内の分散）をしている。• リハビリ室使用時に入院・外来患者の時間が重ならないように調整している。• リハ室を利用した患者の記録を実施している（担当者、病室、時刻を記載）。• 訓練室の使用病棟を分離している。困難な場合時間で分け、変更ごとに衛生対応する。• カルテが紙ベースであり、ナースステーション内の密を避ける為、リハビリの介入スケジュールを2グループに分けて組み、カルテ記入時間を分散するようにしている。• 社内のSEに依頼し、電子カルテ使用を部門ごとに分け機器の併用使用を中止した。• リハビリ控え室（電子カルテ）が密集した状況にならないよう、記録業務は可能な限り1患者診療終了ごとに行い、業務終了後に偏らないように時間調整を行っている。• 精神科では、食事をダイルームで一緒に取ることが多いので、可能な場合は、部屋での食事に変更している。• 職員食堂はお弁当へ一部シフトしている。• 朝礼をスタッフルームではなく、部屋が広いリハ室で行っている。• e-ラーニング化でのリハスタッフ内勉強会の段取り中。

設問12 貴施設での取り組みについてご紹介でいただけるものがありましたらご記入ください②

カテゴリー	自由記述内容
勤務シフト	<ul style="list-style-type: none">• 複数チーム体制が交代制でシフトを組み、チーム内で感染者が発生しても濃厚接触のないチームが運営維持を出来るような体制を取っている。• 行動を職員2人1組とし、管理すべき実数を減らしている(管理職に相談時、2人で相談した事を相談)。• 時差出勤での対応としている。• 通勤者を減らすよう、半日勤務は推奨せず、1日休暇を推奨する。• 教員は在宅勤務(オンライン授業)を推奨している。• 教務課や学生課等の職員は部署ごとの交代勤務とし、人的な接触を低レベルにしている。
リハ実施・中止基準	<ul style="list-style-type: none">• 陽性者・濃厚接触者(同室患者)は中止、同病棟内患者は出棟制限下で実施している。• 有症患者および同室者はPCR陰性確定まで中止、同病棟内患者は病棟内のみで実施する。• 呼吸器症状のある患者は病棟にて対応している。• 免疫不全患者(血液内科、小児科など)へのリハビリは最小限にしている(担当者を限定する、ハイリスク患者への介入を中断するなど)。• コロナ陽性者発生時には外来リハは休止、入院リハは介入を行いたいと考えているが感染予防の防護装備PPEが不足すれば実施できない。• 緊急事態宣言後、室内温泉プールを利用した運動療法は休止している。• 訪問リハビリは原則中止している。

設問12 貴施設での取り組みについてご紹介でいただけるものがありましたらご記入ください③

カテゴリー	自由記述内容
運動指導	<ul style="list-style-type: none">オリジナル運動をYouTubeにて公開している。まるべりい体操(商標登録)。自宅運動用動画を作成し、インターネット上にアップしている。有症患者に対してはリーフレット作成し、間接的に関与している。
情報共有	<ul style="list-style-type: none">行政や協会からの関連情報を入手し、職員へ提示している。極力電子媒体による情報共有にしている。
授業	<ul style="list-style-type: none">代替授業は大学独自の“学務システム”からダウンロード形式を採用している。
その他	<ul style="list-style-type: none">リハビリ室をコロナ陽性疑い患者の搬送室に変更した。休業補償をしている。

設問13 その他知りたい情報などありましたらご記入ください①

カテゴリー	知りたい情報の要約
リハビリテーション 理学療法の実際について	<ul style="list-style-type: none">• COVID-19陽性者へのリハ介入の取り組み• COVID-19陽性患者受入施設数(概数)とリハビリ内容• ECMOを導入しているが、他の急性期病院での取り組み• COVID-19陽性者へのリハ介入の取り組み• COVID-19陽性患者のリハ中止基準• 院内でCOVID-19陽性患者が発生した時の病院の対応経過、リハ室全体の対応について• COVID-19陽性者の経過• COVID-19陽性者への介入施設数• COVID-19陽性者、濃厚接触者、疑い者の各対象別リハ実施ガイドライン• スタッフ発症(陽性)時の施設対応• 外来リハ実施のための環境設定方法• 外来リハ訪問リハの中止状況• 退院前の家族指導で感染リスクを避ける方法• 家屋調査の実施基準• 患者に実践していただく感染対策
リハ業務体制について	<ul style="list-style-type: none">• スタッフの在宅勤務の実際• 家族に疑い患者が生じたときの対応• 勤務シフトの工夫• 陽性者、感染を疑う患者でリハ介入時の担当選定方法• スタッフルームの環境• 疑い者を含む回復期リハ病棟での介入方法(複数担当・頻度など)• 体調管理

設問13 その他知りたい情報などありましたらご記入ください②

カテゴリー	知りたい情報の要約
院内の感染対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスターが発生した病院での経緯などの情報共有 ・ 施設全体の感染対策立案及び運用に理学療法士がどのように関わっているか実情 ・ 施設規模、施設種別にみた感染対策委員会の状況 ・ 陽性患者へのリハ介入の実際 ・ 院内クラスター発生後のリハ室運営状況(具体事例) ・ リハ職がPPEフル装備でも感染した事例 ・ 常にグローブをしているのか ・ 感染防護装備不足について
メンタルケア・サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスター発生施設のスタッフのメンタルケア ・ メンタルサポート、育児スタッフの勤務調整の状況
経営について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営について
診療報酬介護報酬等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策措置に対する診療報酬等の優遇措置はあるのか？ ・ 施設基準や要件の緩和があるのか。 ・ 介護保険の場合の介護報酬はどうか。 ・ 施設基準について
情報収集・共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報開示、リンク集の紹介など ・ 対応に地域差、対策を決定する医師の危機意識の違いがある。 ・ 迅速かつ正確な情報伝達
臨床実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床実習が全く実施されないまま卒業することになった時の採用側の対応策 ・ 臨床実習受け入れの具体策
職能団体としての取り組み	

結果のまとめ

結果のまとめ①

- ・施設形態

病院150/209 複合施設15 診療所13 感染症指定病院9 施設

- ・COVID-19の受け入れ

30% YES 69% NO

- ・COVID-19患者のリハ実施

23% YES 77% NO * YESの23%は廃用予防の介入など

結果のまとめ②

群に関係なく高い実施率の項目（平均70%以上）

	病原体を持ち込まないための対策	病原体を拡げないための対策
個人		<ul style="list-style-type: none">• 日々の体温チェック• マスク対応• 手洗い• 標準予防策の理解• 機器使用毎に消毒している• 手指衛生の前に目や顔を触らない• マスクや手袋を外すときは環境を汚染しないように配慮する
組織	<ul style="list-style-type: none">• 非常勤および不要不急外出自粛要請• 研修会等への参加の自粛または禁止• 院外活動の自粛要請	<ul style="list-style-type: none">• 手洗い等の注意喚起強化• 診療前の日々体温チェック要請および基準越え時の対応(行動記録の義務化)• 院内感染情報、リハ内感染情報の共有• 診療材料(マスク、ガウン)等の使用の見直し• 会議等の見直し(WEBへの切り替え)
入院・ 入所施設		<ul style="list-style-type: none">• スタッフは手指消毒・マスク着用の徹底
外来・デイ		
訪問リハ		

結果のまとめ③

群に関係なく低い実施率の項目（平均30%未満）

	病原体を持ち込まないための対策	病原体を拡げないための対策
個人		
組織		<ul style="list-style-type: none">互いの体調を確認できる仲間(バディ)を作っているスタッフメンタル面のチェックおよび必要に応じてフォロー(職員向け支援プログラムの検討)妊娠中の女性職員(対象職員)の対応
入院・入所施設	<ul style="list-style-type: none">転院希望者の家族の見学を中止している外泊、外出時にはできるだけ家族の自家用車とし、タクシー公共交通機関は控える	<ul style="list-style-type: none">リハビリ対象患者の入院病棟の限定又は時間帯で区切るなど工夫感染疑い患者へ濃厚接触のセラピストはPCR検査結果が出るまでお休みリハ室への利用者人数の制限を実施グループ練習では利用者同士の距離を1メートル以上開けている新規入院時14日間注意している
外来・デイ	<ul style="list-style-type: none">患者家族の発熱者情報を確認する家族で発熱者がいる場合リハ中止家族に14日以内の海外帰国者がいる場合外来リハを中止している	<ul style="list-style-type: none">退所時の手指消毒を行っている退所時の体調確認を行っている
訪問リハ	<ul style="list-style-type: none">利用者に対する介入前の体温測定とマスク着用の依頼。発熱確認時は事前連絡を依頼利用者、家族に対する感染対策への注意喚起強化(冊子配布)予め利用者・ご家族に手洗いとマスクの着用を依頼しているCOVID-19感染に対する利用者へのオリエンテーション訪問前に電話で利用者・家族の体温を聞いている	<ul style="list-style-type: none">使用物品の患者毎のアルコール消毒を徹底している出勤停止等の基準を設けている。感染予防マニュアルを作成しスタッフ間で共有している訪問先での定期的に換気している利用者宅で感染者が出た場合の確認 担当訪問スタッフは出勤停止身分証明書の手参(行動制限を想定した身分明示のため)施設内の兼任業務をなくし専従化。外来や入院患者との隔離。訪問車接触部位をアルコール消毒しているバック・上着等は居室に持ち込まず、ビニール等を敷きその上に置くことを原則とする。利用者が使用している車椅子や歩行器を消毒をしている多職種での関わっている利用者への実働者数を制限している当該地域で感染が広まった際の訪問の優先順位を付けている一部スタッフの直行直帰を開始。ステーション内に詰めないなどの工夫をしているゴミやディスプレイ手袋等は退室時にまとめて居室(居宅)のごみ箱に廃棄している感染症が疑われる方の訪問は最後にするなどの工夫をしている

結果のまとめ④

群により統計的有意差を認めた項目

		病原体を持ち込まないための対策	病原体を拡げないための対策
COVID19受入れ・リハ実施有無	取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 対応するセラピスト基準を策定している 患者への病院規定に沿ったPPE実施している 対応スタッフへのメンタルサポート体制を持っている
	個人レベルの意識		<ul style="list-style-type: none"> PPE(Personal protective equipment)の理解 顔面、口腔に直接接触れる場合には(シールドマスク、ガウン、グローブをつけることを推奨する
	組織レベルの意識		<ul style="list-style-type: none"> COVID対応職員の育成
事業形態別	入院・入所施設	<ul style="list-style-type: none"> 面会の自粛または原則禁止 面会の抑制、入院時に家族の体調不良も確認 	<ul style="list-style-type: none"> 感染疑い患者は、確定されるまでリハ介入行わない ゾーニング体制の構築(施設内での感染者、濃厚接触者発生時対応準備) リハビリ適応患者の選定の見直し
	外来・デイ		<ul style="list-style-type: none"> トレッドミルなどエアゾル増加する運動プログラムの見直し 送迎車内の換気・消毒を実施している 退所時の体調確認を行っている
	訪問リハ		